

第2回G7ラウンドテーブル会合（※）の概要

- 日時・場所：9月7日・8日（於：ドイツ・ボン）
- 主催：ドイツBfDI ※ドイツのデータ保護・プライバシー機関
- 出席者：各国の委員長級（日本からは、個人情報保護委員会 丹野委員長が出席）
- 議題：執行協力・先端技術のほか、企業認証の枠組みといったDFFTの推進等について議論した。
- 成果：成果文書（コミュニケ）の公表

- （※）
- ✓ G7では、データ保護・プライバシー機関の委員長級同士が協議をするラウンドテーブル会合が開催されている。
 - ✓ 来年のG7ラウンドテーブル会合は、日本において当委員会が主催することが決定された。

成果文書で言及された主な協議内容

テーマ	概要
執行協力	執行協力、プライバシーと競争との交差、法執行の再設計等について議論するとともに、データ保護当局間の効果的な情報交換、競争及び消費者保護当局との協力強化、抑止措置のための各国法制度の発展、並びに他の国際機関の取組みの支援の必要性・重要性に言及。
先端技術	「人工知能」、「パンデミックによる技術革新」、「オンライントラッキングの未来形成」について議論。
企業認証を含む 越境データ移転ツール	DFFTを促進する観点から、複数の選択肢から企業ニーズに基づいて、越境移転ツールを選ぶことができる環境を構築することの重要性や、グローバルCBPRフォーラムの取組による進展を確認。
プライバシー強化技術	政府及び産業界に対し、DFFT支援のため、プライバシー強化技術(PETs)の研究等に対する投資を要請。
データ最小化原則等	商業的監視の課題に対応するためのデータ最小化、目的及び使用制限の原則の重要性の提唱。
非識別化	適切な法的・技術的基準に関する情報・アドバイス提供、定義の統一に向けた取組を決意。
AIガバナンス	大規模監視・AIの無差別的な利用の問題を共有。
今後のラウンドテーブル会合	G7デジタル大臣トラックに対し、ラウンドテーブル会合との対話を慫慂するとともに、2023年日本ホストに向け、その準備として、実務家レベルの協力継続を合意。

第2回G7ラウンドテーブル会合



ドイツとのバイ協議（BfDI本部）



BfDI本部 ボードへのサイン



ウェルカムディナー前の記念撮影



ラウンドテーブル会合の会場
外務省特別会議室（ボン）



ラウンドテーブル会合の様様



会議後の記念撮影